

教科	農業	科目	森林経営	単位数	4 単位	学年	3 年	コース	F森林環境
使用教科書	森林経営 実教出版			使用副教材等	なし				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、林産物の利用に必要な資質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能 森林経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	思考・判断・表現 森林経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 森林経営について持続的な経営発展へ向けて自ら学び、農業の振興や社会貢献について主体的かつ協働的に取り組む態度が身に付いている。
評価方法	・定期試験 ・小テスト ・実習状況の観察 (実習内容を理解し、行動することができているか)	・定期試験 ・小テスト ・実習状況の観察 (実習内での自身の役割を把握し、的確に判断できているか)	・授業態度の観察 (主体的・協働的に取り組んでいるか、ノートへの記入はしっかりできているか)

担当者からのメッセージ	・座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。 ・山の中での実践的な実習の時間もあります。服装や身だしなみを正しく整えて安全に授業に臨むようにしてください。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい		観点別評価規準	
1	4 ～ 7	○授業オリエンテーション ・授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを学ぶ		(知):知識・技術 (思):思考・判断・表現 (態):主体的に学習に取り組む態度	
		森林経営Ⅰ	森林経営Ⅱ	森林経営Ⅰ	森林経営Ⅱ
2	8 ～ 12	第3章 森林の測定と評価 第2 森林の年齢と成長量の調査 (1) 樹冠解析 ・調査木の伐採と円板の採取について理解する ・円板の調査について理解する ・樹高および樹高総括表について理解する	第3章 森林の測定と評価 第3森林の機能の評価 (1) 森林の機能の評価の特徴 ・森林の機能の評価の概要について理解する (2) 林産物生産機能の評価 ・森林の機能の評価の種類について理解する ・森林の評価に利用する公式について理解する ・林地の評価について理解する	・森林の測定と評価が、森林経営をしていくうえで重要な役割を担っていることを理解している(知) ・調査木の伐採と円板の採取について理解している(知)(思) ・円板の調査について理解している(知)(思) ・樹高総括表について理解し、正しく作成することができる(知)(思) ・周囲と協力し、最後まで粘り強く実習に取り組むことができる(態)	・森林の機能の評価の移り変わり、目的、留意点について理解している(知) ・林産物生産機能の評価の種類について理解している(知) ・森林の評価に利用する公式を理解し、公式を使って計算することができる(知)(思) ・林地の評価について理解し、公式を使い計算することができる(知)(思) ・周囲と協力し、最後まで粘り強く実習に取り組むことができる(態)
		・樹冠解析図について理解する ・樹冠解析の材積の計算について理解する ・樹冠解析の成長量、成長率の計算について理解する	(3) 森林の公益的機能の評価 ・公益的機能の評価方法について理解する ・環境保全機能の評価について理解する ・保健休養機能の評価について理解する (4) 森林の多面的な機能の総合的な評価 ・貨幣換算について理解する ・CVM法について理解する ・AHP法について理解する	・樹冠解析図について理解し、正しく作成することができる(知)(思) ・樹冠解析の直径と樹高の測定値を使い、材積を求めることができる(知)(思) ・成長年代ごとの直径、樹高、材積からそれぞれの成長量を求めることができる(知)(思) ・周囲と協力し、最後まで粘り強く実習に取り組むことができる(態)	・公益的機能の評価方法について理解している(知) ・環境保全機能の評価方法について理解している(知) ・保健休養機能の評価方法について理解している(知) ・森林の多面的な機能の総合的な評価方法について理解している(知)(思) ・周囲と協力し、最後まで粘り強く実習に取り組むことができる(態)
3	1 ～ 3	(2) 森林の成長量の予測 ・林分収穫表について理解する ・林分密着管理図について理解する	(5) 森林のゾーニングとGISの利用 ・ゾーニングについて理解する ・GISを利用した森林の評価について理解する	・林分収穫表について理解している(知)(思) ・林分密着管理図について理解している(知)(思) ・周囲と協力し、安全に効率よく実習に取り組むことができる(態)	・ゾーニングについて理解している(知)(思) ・GISを利用した森林の評価について理解している(知)(思) ・周囲と協力し、安全に効率よく実習に取り組むことができる(態)